

様式6 別紙

## 事業名 岡山子育てオンラインネットワーク

事業主体 名称：岡山子育てネットワーク「つながる子育て」

住所：岡山県岡山市中区高島新屋敷 714-4

事業実施場所 高島公民館、瀬戸内中央公民館、他

～事業を始めるにあたって～

(地域の現状・課題・目標など)

### 【岡山の民間子育て広場、支援団体のネットワーク形成】

岡山の民間子育て広場、支援団体の情報共有、課題解決に向けての相談の場として、定期的にオフラインで集まる「つながる子育て」の取り組みが始まりました。よりよい子育て環境をつくる為に個人で活動している方、小さな団体、広場がたくさんあることを知ったことで、課題が明確化し、子育て支援をより活発化させるため、政策を行なっています。

昨年度立ち上げた支援者と子育て中の親をつなぐサイト「岡山子育てサポートナビ『ももさぽ』」登録者（令和5年4月時点13団体）の拡大とサイトの拡散を目的としています。

<https://momosapo.com/>



[理由1] 子育て世代の知りたい・知って欲しい情報が届いていない。

[政策1] まとまって見やすく、検索しやすい子育てポータルサイトを作り、インターネットとチラシで拡散する。

[理由2] それぞれで子育て支援を行なって個人商店化してしまっている現在、知見を広げられない、人手不足などの課題を持っている。

[政策2] 講師情報、団体運営など、情報共有ができるように『LINE WORKS』を用いて、オンラインでネットワークを形成する。

## 【子育ての手助けに】

自分たちが妊娠出産で困った経験から昨年度当事業にて、子育て支援サービスが検索できるサイトを立ち上げました。

日頃、乳幼児のお母さんお父さんたちの「子どもをどこに遊びに連れだそう」「雨の日でも遊べる場所はどこかな」「相談電話をするまでもないけど、ちょっと話を聞いてもらいたいな」「当事者の人の話を聞けないかな」と広場や支援者の情報をインターネットにて検索します。

公的な子育て支援施設については、市の広報があるが、個人や小さな団体については口コミやSNSで情報が少ないので、ももさぼのサイト登録者を増やし、より価値のあるサイトにすることが目標です。

## 【すぐに更新可能なウェブサイトでのサポートナビ】

子育て広場の情報更新、新規団体の更新の為に最新情報を公開できるポータルサイトにしました。まだ、登録者も少なく、新規登録者獲得の為に、周知が必要。サイトも機能拡大やより見やすいサイトの構築など、サイトを見る側にとっても、より良いものに更新していきたいです。

## 【支援したい側と支援される側】

支援したい側の『LINE WORKS』を利用したオンラインネットワークで、いつでもどこでも繋がれることが可能。気軽に質問などが投稿でき、参加者全員で共有ができる。また、LINE WORKSの参加者からももさぼ登録希望者を募り、子育てサポートナビの充実へと繋げていく。支援される側も検索しやすくわかりやすい情報が手に入り、支援したい側もLINE WORKSによる共有とももさぼ掲載により応援できる仕組みができています。また、オンラインネットワーク上での情報共有や勉強会にて、支援側の支援力向上を目指しています。

～事業実施内容～

ネットワークづくり事業

<第1回>

1	事業名	ネットワーク学習支援
2	参加人数	支援者10名、一般3名(オンライン1名)
3	日時	令和5年9月14日(木)10:00~11:30
4	場所	高島公民館
5	内容	「～おはなし会～子どもが育つ環境を考える +支援者交流会」

講師：くまの森 森廣美郷 様 (保健師・保育士 岡山大学非常勤講師)

元行政保健師の経験を踏まえ、身近なところから始められる子育て支援についてのお話。お母さんお父さんの声や行政の仕組みなどをご講義いただきました。

## 6 活動の成果等

自分たちに何ができるのかを考える機会になったとお声いただきました。また、一般参加のお母さんからの意見は支援者の参考になりました。



## <第2回>

- 1 事業名 ネットワーク学習会
- 2 参加人数 支援者4名、一般1名  
(YouTube アーカイブ配信視聴5名)
- 3 日時 令和5年11月2日(木)
- 4 場所 高島公民館
- 5 内容 「ピッチ大会事前講座」

講師：岡山子育てネットワーク「つながる子育て」代表 大津朱里  
団体の思いや紹介を5分程度に集約しプレゼンをするピッチの制作に必要な話し方や資料作成のポイントをレクチャーしました。  
YouTube にアーカイブを残し、後日でも見れるように工夫をしました。

## 6 活動の成果等

評価では満点をいただき、参加者にとって、満足度の高い講座となりました。  
ピッチ大会に向け、資料を作成するのも発表するのも初めての方が多く、体験談を踏まえ、当日の心構えや準備の方法もレクチャーに加えたことが高評価につながったと考えます。



## <第3回>

- 1 事業名 ネットワーク学習会
- 2 参加人数 支援者オンライン1名、オフライン1名
- 3 日時 令和6年1月16日(火) 12:00~14:00(オンライン)  
令和6年1月10日(水) 12:00~14:00(オフライン)
- 4 場所 zoomにて対応(オンライン)  
旧岡山市立旭竜幼稚園(オフライン)
- 5 内容 「ピッチ大会事前講座 個別対応」
  - ・オンライン講師：大津朱里
  - ・オフライン講師：岡田直子、西田佳名子

事前講座の内容を個別対応し、プレゼン資料の細かい内容の修正をしました。

- ・オンライン：一人30分程度の個別対応
- ・オフライン：パソコンで資料制作したものを持ってきていただき、簡単な見直し。数値の入れ込みなどの助言。

## 6 活動の成果等

作成してきた資料をもとにまずは、デモ発表をしていただき、時間を測定。  
5分間という短い時間に何を盛り込み、何を省くか、どう表現するか、資料の改善案と発表のレクチャーを個別で行い、参加者はピッチ大会当日、とても良く仕上げてくださいました。

た。



## ネットワークづくり事業

### <第1回>

- |   |      |                            |
|---|------|----------------------------|
| 1 | 参加人数 | 支援者 3名                     |
| 2 | 日時   | 令和5年10月12日(木)              |
| 7 | 場所   | 瀬戸内市中央公民館 視聴覚室             |
| 内 | 容    | 「子育て支援者向け 絵本の講座」「瀬戸内出張登録会」 |
- 講師：丸内郷子 様  
絵本未来創造機構(えほんみらい)EQ 絵本講師  
幼児教室(知育、小学校受験元講師)

ももさぼに登録するための説明会、支援者交流会を実施しました。集客の為、一緒に支援者向けの絵本の講座を実施し、登録説明会を開催しましたが、瀬戸内市の子育て支援者は1名と少なかったです。市役所に聞いたところ、子育て支援が充実しているため、個人の支援者や子育て支援団体が多くないそうです。

## 7 活動の成果等

瀬戸内市で開催するにあたり、瀬戸内市役所こども家庭課とつながることができました。瀬戸内エリアでの広がりや、成果が出なかったが、他エリアから足を運んで来てくれた方がLINE WORKS とももさぼの登録を行いました。



### <第2回>

- |   |      |                                   |
|---|------|-----------------------------------|
| 1 | 参加人数 | 登壇者 6名、審査員 4名、一般オーディエンス 4名 子ども 1名 |
| 2 | 日時   | 令和6年1月18日(木) 10:00~12:00          |
| 3 | 場所   | 高島公民館                             |
| 4 | 内容   | 全6組の個人・団体がピッチ大会を開催しました。           |
- 審査員から選ばれた「審査員賞」、オーディエンスから選ばれた「オーディエンス賞」、登壇者の皆様には、「チャイルドケアサポート賞」を授与しました。

「審査員賞」には、以下の項目で絶対評価で点数をつけてもらいました。

#### 【各項目 5点 × 4項目 = 合計 20点満点】

- 1 子育て支援に貢献する明確な意志とビジョン
- 2 社会や生活の中から課題を見出す洞察力と解決策を構築する能力
- 3 現状を打破し、改善するイノベティブな発想力と行動力

ピッチが終わったあと、審査員に講評を行ってもらいました。

「オーディエンス賞」では、オーディエンス参加者のみなさんに支持する活動に、1人7票もって6名の登壇者に投票してもらいました。

### 登壇者

- ひだまりポケット 窪田 薫 氏
- 特定非営利活動法人こもれび room 岸 美緒 氏
- こども訪問ステーションゆい 松田 邦子 氏
- 絵本未来創造機構 丸内 郷子 氏
- 産婆の ohana 橋本 早矢香 氏
- ままからだっこ 濱田 由紀 氏

### 審査員

- 旭竜学区連合町内会 会長 瀧本 孝 様
- 高島公民館 主任 小楨 祐子 様
- 備前県民局福祉振興課 子育て支援班 総括副参事 長谷川 笑子 様
- 備前県民局福祉振興課 子育て支援班 江田 香梨 様

## 5 活動の成果等

オーディエンス賞はお母さんに近い支援をされている方、審査員賞は行政に近い支援をされている方に入ったと考察します。

それぞれ思いのこもった内容で、オーディエンスからは、「皆さんよくて票をどれに決めていいか悩みます。」という声が聞かれました。

ピッチをする機会が今までなかった方がほとんどだったにも関わらず、素晴らしいピッチで、登壇者の方々も自分たちの活動を知ってもらえる良き機会だったと捉えていただき、とても意義のある時間となりました。

登壇者同士や行政とのコラボが今後期待できる結果となりました。

<審査員賞> 産婆の ohana 橋本 早矢香 氏

<オーディエンス賞> ひだまりポケット 窪田 薫 氏



～事業を終えて～

○事業実施による効果

Instagram のフォロワー数が 395 に増え、岡山市内では支援者界限に浸透してきていると感じています。子育て世代の講座への参加も増え、支援者と一般のお母さんたちを繋ぐ場としていきっかけになっています。

○今後の課題・展開

サイト登録者のエリア拡大のための販促、運営費調達のための登録料設定。  
今後は繋がりを活かして、子育てしやすい環境づくりに、貢献していきたいです。

○まとめ

学習会では、支援者自身のスキルアップにつながる講座ができました。特に普段活動の中で取り組むことのない、ピッチ大会は「自分の支援を改めて考え、人に伝えるという作業ができよかった。」、「活動が長くなると人の前に立って話すことも多くなるので、いきっかけになった」と、反響が大きかったです。

サイト「岡山子育てサポートナビ『ももさぼ』」について、追加で 5 件の支援団体・個人が登録を行い、トータル 18 件のページが公開されています。

サイトの平均閲覧数は、月 500pv ほどになっています。Instagram からの流入が多く、新規で訪問される人が 9 割にのぼっています。